

愛媛県のまちづくり ～輝くふるさと愛媛づくり～

1. はじめに

愛媛県は、古事記の「伊予の国を愛比売と謂ひ」に由来する由緒ある名前をもつ県であり、しまなみ海道沿線をはじめとした多島美を誇る瀬戸内海、リアス式海岸の宇和海、西日本最高峰の石鎚山、日本三大カルストの一つである四国カルストなどの美しい景観とともに、豊かな自然と温暖な気候に育まれた山海の幸に恵まれています。

また、道後温泉や松山城、そして県西南部の内子・大洲・宇和の情緒あふれる古い町並みに加え、四国八十八箇所霊場の巡礼者に対するおもてなしの心が根づくなど、多彩な歴史・伝統・文化も有していることから、毎年多くの観光客が訪れております。

本県では、こうした地域資源を活かしつつ、147万県民のやさしさとパワーを結集した「県民力」を糧に、子どもやお年寄りの笑顔があふれ、みんなの魂（こころ）が光る「輝くふるさと愛媛づくり」に全力で取り組んでいます。

2. 共に創ろう 誇れる愛媛

今日、本格的な人口減少社会が到来し、地方分権も進展するなど、本県を取り巻く環境は、大きな変革期にあります。

こうしたなか、本県では、平成22年を目標年次とする「第五次愛媛県長期計画」のもと、県政の基本理念である「共に創ろう 誇れる愛媛」の実現を目指しております。

また、厳しい財政状況を踏まえ、歳入・歳出両

面にわたる抜本的な財政構造改革に取り組み、「伸びるところを、とことん伸ばす」、「弱っている地域や人を、みんなで支える」という2つの視点を基本とした「選択と集中」により、限られた財源を緊急性や必要性の高い分野に優先的・重点的に配分するよう努めているところです。

3. まちづくりの取り組み

本県では、今後のさらなる人口減少・高齢化を見据えて、住宅や商業施設等の郊外部への無秩序な拡散に歯止めをかけ、コンパクトに集約した都市構造への転換を目指しています。加えて、自然環境・景観等の特色を活かした定住の場としての良好な市街地の形成を実現することにより、地域の魅力・活力の向上を図り、持続可能なまちづくりを推進することを、重要な課題として取り組むこととしています。

県都松山市では、11月から放映が開始された、司馬遼太郎氏原作のNHKスペシャルドラマ「坂の上の雲」の舞台となった城山周辺を中心に、街全体を屋根のない博物館として楽しんでいただこうと、「坂の上の雲フィールドミュージアム構想」を立ち上げ、官民一体の取り組みを行っています。また、古事記や万葉集にも記され、日本最古とも言われる道後温泉の周辺では、観光客等がゆったりと安心してくつろげる広場や歩道空間を整備するなど、温泉と観光を活かしたまちづくりを進めているところです。

県西南部の南予地方では、内子・大洲・宇和の

愛媛県知事 **か と もり ゆき**
加 戸 守 行



3地域が連携して、町並み保存地区の瓦版「おらのまちなみ」のホームページを開設し、地域の特産品やイベントを紹介しています。とりわけ、大洲市では、「龍馬脱藩の舞台裏」、「伊予の小京都」等のキャッチフレーズで、NHK連続テレビ小説のロケ地となった「おはなはん通り」、腰板張りの武家屋敷やなまこ壁の土蔵がある「明治の家並み」、昭和30年代の懐かしい空気が漂う「ポコペン横丁」を観光人力車で周遊する企画に取り組むなど、さまざまなソフト事業にチャレンジしております。また、西予市宇和町の「卯之町伝統的建造物群保存地区」は、本県では内子町の八日市護国の町並みに続いて2件目となる、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定される見通しとなり、地元では、町並みを活かした地域活性化の機運がますます高まっています。

一方、ハード事業では、賑わいと活力あるまちづくりの実現に向け、JR松山駅付近において、連続立体交差事業と土地区画整理事業を、瀬戸内しまなみ海道の玄関口である西瀬戸自動車道今治IC周辺において、文化・産業・福祉・教育・住宅及び公園等の施設を有する複合都市の形成を図る今治新都市開発整備事業を推進しております。特に厳しい経済状況にある南予地方では、生活の利便性向上や地域産業の活性化に向けて、西予宇和IC－宇和島北IC間の高速道路延伸、大洲・八幡浜間の地域高規格道路の整備等を進めています。

また、本県では、景観法の施行に先がけ、平成16年4月に市町村と「愛媛県景観形成推進会議」

を設立して、愛媛らしい景観形成の推進を図った結果、現在では、県内20市町のうち18市町が景観行政団体に移行しているほか、リアス式海岸と石積みの段々畑がおりなす絶景で知られる国の重要文化的景観「水荷浦地区」がある宇和島市をはじめとして、4市町は景観計画も策定しています。今後は、全市町の景観行政団体移行と景観計画策定を目指した活動を積極的に進めるとともに、景観を土台とした愛媛らしさのあるまちづくりを推進したいと考えています。

4. おわりに

昨年来の世界的な経済不況のもとで、景気低迷に伴う雇用調整が行われるなど、愛媛県政にとってもさまざまな課題が山積しています。特に、県勢発展の根幹を成す社会資本整備の水準は、全国に比べ立ち遅れており、厳しい財政状況のなか、真に必要な公共事業を厳選して実施し、県民福祉の向上を図っているところです。

今後とも、県民の生命、財産を守ることを最優先とした安全・安心の確保を図るとともに、産業の振興、地域の活性化に取り組みながら、「輝くふるさと愛媛づくり」を目指して参ります。皆さんには、機会があれば、ぜひ本県にお越しいただき、愛媛らしさを体感していただきたいと思ひます。